



さくくら RA



Mar. 2018

発行ノボイスカウト世田谷第5団広報部

団行事 2月18日 BP祭 ビーバー隊

ビーバー隊隊長 草嶋隆行

団行事のBP祭に参加しました。いつもと違ってカブやボーイ隊などのお兄さんと一緒です。荘厳な雰囲気の中でろうそくを灯してビーバー隊のやくそくを改めて言いました。

その後は保科副長リードで全体ゲーム。ドッチボールや座って行なうバレーボールを楽しみました。解散後、他隊がいなくなった部屋でひき続きボールを使って遊びました。新考案のPK合戦など楽しく遊べました。



カブ隊 (+スケート@横浜)

CS隊副長 太田雄介

BP祭。ボーイスカウトの創始者、ベーデンパウエルの誕生日会です。年に数度、団の全員が集まる会の一つで、部屋を真っ暗にして燭台にろうそくの火を灯しながら、順に誓いや掟を述べ、BPの誕生日を祝います。その厳かな雰囲気が僕は好きです。

静かな会が終わったら一転して、ローバー隊やボーイ隊が提供するゲームを、全員で遊ぶという楽しい時間が続きます。幅広い年齢の男子が一堂に会して同じ遊びに興じる姿を見るのはとても面白いし、4年前に僕がデンリーダーを始めたときにいた子たちの成長を、ずっと見守ることができるのは本当にありがたいことだと思っています。

午後は、カブ隊のみが横浜のスケートリンクに移動しました。羽生選手が金メダルを取った翌日ということもあり、例年の5割増しくらいの人でリンクは賑わっていました。今年は、プログラム担当者の自分が、初心者の子たちを集めて冒頭で講習会をやってみようと思っていましたが、靴を上手く履けない子の面倒を見ているうちに、みんなあつという間にリンクに飛び出していました…。僕と同じくのんびりスタートした数名の初心者に、簡単な手ほどきをしたあとは、みんなの様子を見ながら（たまに鬼ごっこをしながら）、自分のペースで楽しんで滑りました。年に一度とはいえ、毎年滑っているとこの年齢でも少し上達したような気がして、それもうれしいものです。帰りは、隣の公園で恒例のキツネの尻尾取りをしてから、帰路につきました。

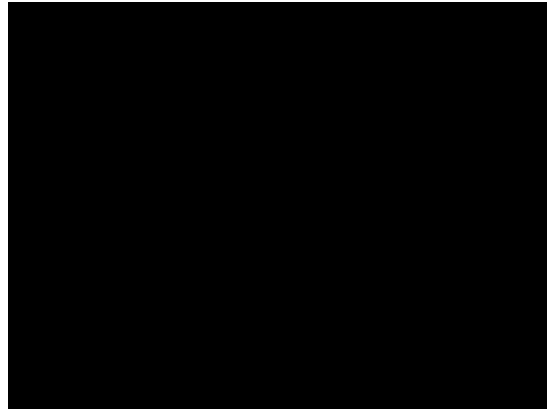


3組うさぎ

BP祭でビーバー隊と遊べて楽しかったです。スケートは転んで痛かったけどすべれて楽しかったです。

4組 うさぎ

ぼくはスケートはあまりとくいではありませんでした。カブでスケートをやったらとちゅうころんだりしたけど、上手にすべれてうれしかったです。



ボーイ隊 (+炊事訓練)

BS隊 カモメ班

ぼくは午前中に用事があったため、今回は午後だけ参加しました。BP祭に出られなかったのは少し残念です。

今回はカレーを作ったり、リンゴの皮を自分でむいたり、進歩章を進めたりと色々なことをしましたが、特に進歩章を結構進められたことは良かったです。これからももっと進めて、早く2級を取りたいです。



ビーバー隊

2月4日 先輩スカウトのお話

ビーバー隊隊長 草嶋隆行

今回は趣向を変えて、5団の先輩、江崎さんにボーイやベンチャー時代のお話をしてもらいました。江崎さんは日本の100年あまりの歴史で2000人強しかいない富士章を取ったスカウトです。ジャンボリーや海外派遣を通じて生涯の友を作った話や、スカウト活動を通じて今大学院で学んでいる障がい者教育について話してくれました。スカウトにとっては、ちょっと難しい話もありましたが、江崎さんが持ってきてくれた海外隊の制服やワッペンにはスカウトも興味津々のようでした。

子供たちが猫じゃらし公園で遊ぶ間、父兄の方と懇談をしました。ビーバー隊の活動ではなかなか見当が

つかないボーイ隊以上の活動内容をお伝えできたと思います。一方、スカウト達は公園で自主的にBB弾集め大会を考案、実行しました。みんなで決めて楽しく遊べたのはとても良かったと思います。



カブ隊

2月11日 てくたくハイク@駒沢方面

CS隊副長 本間千香

天気は晴れ！今年のでくたくハイクは初めての駒沢公園コースを歩きました。

てくたくハイクとは世田谷区から出ているてくたくぶっくを元にコースによって石碑の数は違うのですが今回は29ヶ所の13キロハイクになります。

組集会でしたので各組での行動で動きスカウトの協力がとても必要とする活動です。

今年度初の活動で世田谷区役所から九品仏までのハイクしているので道もかなりわかってきていると思っていたのでスカウトの帰りも早いだろうと予測をしていたのですが2組は1時間早く到着 残りの2組は時間通りと遅刻組が出てしまいました。

自分たちの住んでいる地域をわかってもらうために毎年コースをかえ世田谷区をわかってもらえるのが嬉しいです。

この活動は出席などが関係して点数をつけられるのでなかなか最後まで得点がわからないとゆうことがおもしろいところでもあります。次回のコースもたのしんでもらえるよう企画をしたいと思います。

二組 うさぎ

今日はテクタクハイクでした。木の影にかくれていたりするところが、探しにくかったけど、時間内に29ヶ所すべてまわれたのでよかったです。地図を見るのが、もっとうまくなりたと思いました。

1組 しか

善養院の石柱が、草や木に囲まれていてなかなか見つかりませんでした。だけど、石柱を29ヶ所全部埋められて、嬉しかったです。



ボーイ隊

1月28日 月の輪ハイク@東急多摩川

BS隊 カモメ班 舟橋虹太

ぼくは今回、月の輪スカウトも一緒に行動したため、事実上カブからボーイに上進して初めて「先輩」になりました。

そして、やはり後輩たちに色々アドバイスしたりするのは、とても大変なことなのだと実感することができました。

月の輪スカウトが上進してきたら、先輩としてしっかりフォローできるようにがんばりたいです。



2/10~12 スキー訓練合宿 @赤倉観光リゾートスキー場

BS隊 オットセイ班

今回のキャンプはスキーに行きました。一番心に残っていることは、二日目のお昼ご飯の後の中級コースでのことです。ずっと中級コースを滑りたいと思っていましたが、いざ滑ってみると転んでしまいました。隊長がいてくれましたが坂が急で中々起き上がれませんでした。立てても少し滑ったらまた転んでしまったのでみんなに遅れをとってしまいました。なので、来年は中級コースもしっかりすべれるようになりたいです。



BS隊 トナカイ班

ぼくは今回が初めてのスキーでした。なので、行く時はとてもワクワクして夜も途中で起きたりと、ドキドキしていました。

初日は隊長や、渡口さんに教えてもらい、何とかターンや八の字滑りなどができるようになりました。宿に帰ってからはお風呂に入り、夕飯を食べ、テレビを見て、人狼をやるなど、まるで家のように生活できてとても楽しかったです。

二日目は少しずつ滑れるようになり、三園さんに教えてもらいながら、中級にも何度も挑戦しました。何度も転んで練習したのが良かったのか、三日目の最後にはゆっくりだったけれど転ばずにゴールしました。

とても楽しかった三日間のスキーキャンプ。来年もまた参加したいです。



BS隊 オットセイ班

ボーイ隊としてスキーに行くのも今回が最後となってしまった。なのにも関わらず僕は遅刻組で1日目を潰してしまった。しょうがないと言えばそれで終わりだが滑り足りない思いが少し残る。また小針君と三園と三人でずっと滑ってたので指導を受けることはなかった。楽しかったが上達したかはよくわからない。素人が行ける限界の壁に近づいたのかもしれない。更なる高みを目指すという格好の良い事を言ってみよう。私は来年ベンチャーとしてくるときはスノボをやりたい。と思った。



BS隊 カモメ班

今回のスキー訓練は、ボーイスカウトに上進してから初めてのスキー訓練でした。

今までに家族で滑ったことは何回もありましたが、最初は他のスカウトについていけるか少し不安でした。しかしそんな事はなく、2日目は強風に、3日目は雪に見舞われましたが、最高のすべりをすることができました。

スキー訓練は初めてなのに、スキー検定でかなり上の級を取れたことも嬉しかったです。来年も絶対参加したいです。

BS隊 カモメ班

今回のスキーキャンプは、初めてだったがスキーは何回もやったことがあるので不安はなかった。このキャンプで出来るようになりたかったのはパラレルターンだった。最終的に検定の級は3.9級で基礎パラレルターンが少し出来ているということで、個人的には、まあまあかなと言うところだった。

BS隊 トナカイ班

スキーは、この冬で3回目でしたが赤倉観光の雪はふかふかで滑りやすく、自分なりに楽しむ事が出来ました。渡口さんがとても上手で尊敬しました。

星空観察では、石崎隊長より、星の位置関係の解説ができました。ローバー隊の山根君、小針君などと仲良くなり、この訓練合宿を通して、活動前の目標の“怪我をせず安全に活動”ができました。隊長やローバー隊、リーダーのおかげだと思いました。これからも日々感謝したいと思います。

BS隊 オットセイ班

今回、僕は人生初めてのスキーでした。2日間、ずっと先輩方や隊長副長にスキーの指導をしてもらい、迷惑をかけてしまいました。転んだり、曲がりたい方向に曲がれなかったり、出来ないことがたくさんあったけれど、今後学校やボーイスカウトで、スキーをやっていく上で、大切な基礎を教えてもらいました。

ホテル内には、外国人がたくさんいて、話しかけようと思いましたが、勇気より恥ずかしい気持ちが勝ってしまい、話せませんでした。今度、ジャンボリーもあるので、外国人に対する免疫力を高めて、自分が思ったことを思うように伝えられるようになりたいと思います。

BS隊 オットセイ班

今回で2回目だったけどスキーは上手くなって気持ちよく滑れた。

生活面では、改善しなければいけないことが多少あったものの、楽しく過ごせた。が、私は来年ベンチャーとしてくるときはスノボをやりたい。と思った。



ローバー隊

ローバー隊　隊長　渡口要
「スキー訓練感想」
恒例のボーイ隊スキー訓練。今年は新潟県の赤倉温泉スキー場で開催しました。

昨年と一昨年はそれぞれ1月と3月に開催。雪不足にやきもきしたので、今年は2月開催にしました。しかし今回は逆に、ニュース報道などを見て大雪を心配する声が多かったようです。

しかし新潟県の暴風雪が問題になったのは基本的に沿岸部。赤倉温泉は長野県との県境に位置します。「新潟県大雪」の報道とはほぼ無縁の、天候に恵まれた3日間になりました。

初日は石崎ボーイ隊長とローバー隊長の私，そして2日目と3日目は三園カブ副長にも加わっていただいて、初心者3名を含む12名のスカウトのスキー訓練を実施しました。

2日目は山根君と松谷君、そしてベンチャー隊からは小針君が参加してくれました。カブのリーダーからローバースカウトまでの各隊の協力を得て、怪我なく無事スキー訓練を終えることができました。

初日は石崎ボーイ隊長とローバー隊長の私，そして2日目と3日目は三園カブ副長にも加わっていただいて、初心者3名を含む12名のスカウトのスキー訓練を実施しました。

12人をリーダー3人で割ればリーダー1人あたりスカウト4人で回せそうですが、実際には様々な事情のため（例えば初心者は専属でリーダーが1人必要），出来ればもう2名リーダーが欲しいところです。が、今年はローバー隊から山根君と松谷君，そしてベンチャー隊からは小針君が参加してくれました。カブのリーダーからローバースカウトまでの各隊の協力を得て、怪我なく無事スキー訓練を終えることができました。

スキー訓練中のスカウトの様子は様々。
初心者が必ず経験する地獄のカニ歩き。しかし今回の初心者3人は皆運動神経が良く，すぐにリフトに乗って初心者コースを滑れるようになり，スキーの疾走感を楽しんでいるようでした。

実力的には滑れるのに，ビビって中級斜面に二の足を踏むスカウト。逆にまだスピードをコントロールする術が未熟なのに，どんどん先に行こうとする「暴走君」。それぞれのスカウトの性格が見えてくるのも面白かったです。

安全・娯楽・訓練のバランスをいかに取るのか悩ましいところですが，ボーイスカウト活動である以上，あくまでスキー「訓練」であり，安全第一であることはもちろ

ろんですが，スキーを楽しめなければ意味がないこともまた事実。その点，今回は全員がしっかり楽しんでくれたのではないかと思います。

今回ローバー隊の神田君が，スキーの楽しそうな様子を動画に編集してくれました。ボーイ隊のホームページ（http://setagaya5.boy.jp/scout/troop/）にupしますので，皆さまご覧ください。

ところで，私はスキー訓練でいつもスキー場のMAPを配ります。例年活動目的として「スキー技術習得および自律行動」を掲げることが多いのですが，「1人でもスキー場で迷わずに，自分の位置を確認しながら安全に集合場所に戻ってこられること」が，スキーにおいて最も重要な自律行動だと考えるからです。

果たしてスカウトたちは地図を確認しながら滑れていたでしょうか？参加したスカウトのご家庭は，是非ともどのコースをどの順番でどのように滑ったか，話を聞いてみてください。

スキー外では，制服を着ての朝の朝礼，1日目の夜プロ：ストレッチ，2日目の夜プロ：ナイトハイク&星空観測，そしてグリーンバー・ミーティングを行いました。

特に石崎隊長指導のナイトハイク&星空観測は，スカウトの印象に残ったのではないのでしょうか？

雪は音を吸収します。夜の静かな雪道を発声禁止で歩いて五感を研ぎ澄ませるというプログラムでしたが，案の定おしゃべりをしてしまうスカウトが何人か。「黙っている」というのも自律行動の訓練の1つです。次は成功させたいですね。

あたりまえですが，赤倉温泉は東京よりもはるかに闇が深く空気が澄んでいて，星空が綺麗に見えます。私が下見したときは本当にハッキリと星が見えましたが，ナイトハイク出発のときには雲が出てきて少し心配しました。しかし星空観測にはそれほど問題にならず，冬の代表的な星座を観ながら，石崎隊長の解説を聴くことが出来ました。

スキーもナイトハイクも星空観測も，「なぜ曲がりたい方向と逆の足に体重をのせるのか？」・「なぜ沈黙して歩くのか？」・「なぜ昔の人は星座を作ったのか？」といったことを考えながらやるといいですね。このような疑問を追求する癖をつけると，スキー等のスポーツの上達は早まりますし，身体感覚を自分でコントロールできるようになりますし，星をはじめとした様々な知識も深まるでしょう。

最後に，私とスキーの関係について。

スキーに関する私の思い出は，大きく分けて3つあります。1つ目はスキー好きの父から滑りを教わった思い出。2つ目は中高時代に所属したスキー部でアルペン競技をやった思い出（平昌オリンピックで，赤と青の旗で作られたコースをスキーまたはスノーボードで滑る競技を観ませんでしたか？あれがアルペン競技です）。そして3つ目が，ボーイ隊・ベンチャー隊・ローバー隊で行ったスキーの思い出です。

我々の世代はスキー・スノーボードを好きなスカウトが多く，毎冬計画してスキーに行っていました。リ

ローバー隊　隊長　渡口要

科学と詩 第3回
4. Vagabond & Planet(es)

B-Pの言葉：“THE ONLY TRUE SUCCESS IS HAPPINESS”（http://setagaya5.boy.jp/scout/rover/RAE_1802.html）を，科学と詩を補助線にして読み解くことで，“Rover”にとつての“success”とは何かを考えてきました。

同じことを，別の方向から考えてみましょう。そうすることで，科学と詩のイメージがより明確になるとともに，「共有と孤独」あるいは「みんなとわたし」という新たな補助線を導入できます。

「別の方向」とは，“rover”と同じような意味の別英単語：“vagabond”と“planet”について調べてみることです。

「別の方向」とは，“rover”と同じような意味の別英単語：“vagabond”と“planet”について調べてみることです。

「別の方向」とは，“rover”と同じような意味の別英単語：“vagabond”と“planet”について調べてみることです。

「別の方向」とは，“rover”と同じような意味の別英単語：“vagabond”と“planet”について調べてみることです。

“vagabond（バガボンド）”という英語は，聞いたことのあるスカウトが多いのではないかと思います。『SLAM DUNK（スラムダンク）』（http://amzn.to/2EspIXM）の著者，井上雄彦による漫画『バガボンド』（http://amzn.to/2DQxrOm）のタイトルです。原作は吉川英治の『宮本武蔵』（http://amzn.to/2DTuixm）。二刀流で有名な江戸時代初期（17世紀初期）の剣術家，宮本武蔵を主人公とした伝記的漫画です。

ーダーになった後も，ボーイスカウト活動とは無関係に，しかしボーイスカウトの仲間と何度もスキーに行っています。我々の思い出話のネタには，夏のキャンプと同じくらい冬のスキーが登場するのです。

スキーでなくとも良いですが，ボーイスカウトの仲間たちと一緒に行動する，何か息の長い「軸」を持てると，とても良いと思います。我がローバー隊では近ごろサイクリングがブームになりつつあるようで，そのような軸になるのではないかと注目しています。

別にスポーツである必要はありません。皆が楽しめるイベント=軸を探してみてください（もちろん，ボーイスカウト活動自体がそのような軸の1つです）。きっと人生が一段と楽しくなりますよ。

「vagabond”は“rover”と同じく，“さまよう人”を意味します。しかし同じ「さまよう人」であっても，“vagabond”のニュアンスは“rover”よりもずっと野蛮で泥臭く，“ごろつき”とか「やくざ者」といった意味にもなります。『バガボンド』の主人公宮本武蔵のイメージがまさにそれです。

『バガボンド』の武蔵は，自らにとって「剣」とは何か？「強い」とはどういうことか？といったことを，様々な修羅場をくぐり抜ける中で考えます。それは「自らの人生の問題」について考えるということです。このような問題のことを「実存」の問題と言います。『バガボンド』は，武蔵が剣術を通して泥臭く実存の問題を追いかける物語，と言えます。

実存の問題を追いかけるのは，基本的に孤独な作業です。今風には「自分探し」をイメージしてもらえばいいでしょうか。なにせ考えるのは自身の人生の問題ですから，自分探しが孤独なものになるのは当然です。

そしてこれは，“文学（詩）は個人的なものだ”と言い換えることが可能です。なぜなら文学（詩）は自身の実存についての表現であり，それは根本的には他人に理解されないからです。もちろん，面白い物語を著者の実存と無関係に描く小説は沢山あります。しかしそれは普通「文学（詩）」とは呼ばれません。

以上のことをB-Pの言葉に接続すると，次のことが言えます。“vagabond”は詩に属する孤独な存在である。他方，B-Pの言葉の中で“beauty”が単数形であるのは，個人の感情（heart）の働きによって美が把握されるからである。つまり美とは孤独（個人的）なものである。“vagabond”=詩=孤独=“heart”=美（beauty, 単数形）という「等式」が成り立つのです。

そしてそのような“vagabond”にとって，“success”とはつまり実存の問題を解消することです。自分探しを（ひとまず）終わらせることです。平たく言えば「悟

り」を得ること。井上雄彦の『バガボンド』はまだ完結していないので、物語の最後がどうなるかは分かりませんが、武蔵のたどり着くであろう“success”が楽しみです。

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

4.2. Planet(es)

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

もう1つの英単語“planet”は「惑星」という意味を持ちます。惑星というのは、金星とか土星とか、つまり太陽（恒星）の周りを回っている天体のことを言います（これは正確な定義ではない、というか、そもそも「惑星」の完全に共有された定義は未だ無いようです）。

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

惑星がなぜ「惑う」のか、それを理解するには天動説（地球の周りを太陽を含む他の惑星が回る）と地動説（太陽の周りを地球を含む惑星が回る）の違いを知る必要があります。まさに2016年さくら3月号（http://setagaya5.boy.jp/scout/pdf/1603.pdf）の天地明察の話（http://setagaya5.boy.jp/scout/troop/report/160214.html）などで紹介した、古典的な天文学の話です。

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

惑星（planet）は沢山あります。惑星を含めた宇宙に浮かぶ沢山の星々は、お互いに弱く重力を及ぼし合いながらネットワーク構造（パターン）を形成している。このことは、2017年さくら9月号（http://setagaya5.boy.jp/scout/pdf/1709.pdf）:10. アインシュタインの重力（http://setagaya5.boy.jp/scout/rover/RAE_1709.html）でも少し書いた通り、「宇宙の大規模構造」と呼ばれています。2017年8月の世田谷第5団65周年キャンポリーでは、キャンプファイヤーの最後でガリ勉がそれを「スポンジみたいな構造」と言いました。

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

それは例えば、2017年さくら10月号（http://setagaya5.boy.jp/scout/pdf/1710.pdf）:12. 重力波によって宇宙を観ること（http://setagaya5.boy.jp/scout/rover/RAE_1710.html）で紹介したLIGOの論文：『連星ブラックホール合体からの重力波の観測』（https://journals.aps.org/prl/pdf/10.1103/PhysRevLett.116.061102）の11ページから13ページにかけて記載されている著者名の「沢山さ」を眺めれば分かるでしょう。

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について

↑ 『バガボンド』の「惑星」について



会議報告

育成会役員会 2月7日(水)13:00~15:00

玉川総合支所(仮設庁舎)等々力庁舎1階会議室

午前中:入団説明会チラシ印刷・仕分け作業

13:00~ 役員会

1. 九品仏バザー反省

2. 入団説明会(3/11 13:30~)準備、お手伝い内容確認

3. 次期役員選出準備

4. 上進式、会計監査(4/1)

5. 総会(5/27)準備

団会議・団委員会 2月17日(土)19:00~ 奥沢地区会館第3会議室

★ 各隊報告

★ スカウト数: B V S 隊4名、C S 隊21名、B S 隊18名、V S 隊9名、R S 隊11名
(計63名)

★ 30年度団補助 B V S 隊:50,000円

C S 隊:200,000円

B S 隊:200,000円

V S 隊:80,000円

R S 隊:120,000円

★ 進歩制度:新しい進級課程に移行は4月1日より



会議予定

3月11日(日)「入団説明会」13:30~ 玉堤地区会館大会議室(1F)

14時頃~ 河川敷にて活動を見学

3月17日(土) 団会議・団委員会 19:00~ 奥沢地区会館第2会議室

* 各隊30年度予算 及び 活動計画を提出

3月の育成会役員会はありません

4月1日(日) 会計監査



〈育成会より〉

2/7 有志の方のご協力をいただき、入団説明会のチラシを2350枚印刷。

近隣の小学校・幼稚園・保育園・児童館等17箇所に配布しました。

ありがとうございました。